令和５年度　いなべ市総合戦略事業進捗状況報告書（概要）計画期間：令和2年度から令和７年度まで

資料1

総合戦略プロジェクト（9頁　※資料2の該当頁）

国の政策分野1

地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
⇒　しごと創生プロジェクト
数値目標：事業所数（法人税割納税義務者数）

数値目標名	単位	実績値	目標値						達成率（%）
			実績値						
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
事業所数（法人税割納税義務者数）	事業所	1,124	－	－	－	1,195	1,211	1,227	101.4
			1,156	1,170	1,179	1,212			

※三重県の『市町村税の概要』による。

工業統計が廃止されたため、昨年度、新しい目標として「事業所数（法人税割納税義務者数）」を設定しました。
市内の事業所数が増えることは、就業の多様性や機会の増加につながり、地方にしごとをつくり、安心して働けるようになります。
事業所数は徐々に増加しており、目標を達成することができました。

判定	A	B	C	D	不能
指標数	4	1	1	3	0

しごと創生プロジェクトは、9 事業中 5 事業がA及びB判定で概ね順調にプロジェクトを進めることができました。
C判定の「審議会等への女性登用率」は、目標を達成することができませんでしたが、3年ぶりの三重県男女共同参画連携映画祭や広報誌への特集記事（男女共同参画）による啓発を実施しました。今後も各部局の審議会等への女性委員を推進する一方で、指標数を「女性登用率」から「女性登用率を満たす審議会の割合」等に見直すなどの検討をします。
D判定の「企業相談件数」及び「企業立地件数」は、新規進出や拡張の相談はあったものの立地協定の締結には至りませんでした。しかし、東海環状自動車道の全線開通を見据え、新たな企業進出や店舗出店等が見受けられ、今後も引き続き工場用地の確保と企業誘致活動に積極的に取り組みます。
「そば祭り入場者数」は、6,000 人で前年度より 4,000 人増加したものの、コロナ禍以前の水準まで戻らず目標を達成できませんでした。

国の政策分野2

地方への新しい人の流れをつくる
⇒　であい創生プロジェクト
数値目標：観光集客数

数値目標名	単位	実績値	目標値						達成率（%）
			実績値						
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
観光集客数	人	410,764	453,000	455,000	457,000	459,000	461,000	463,000	140.1
			660,359	681,328	738,222	642,898			

大規模改修工事に伴い、阿下喜温泉の集客数は、21,564人で83,095人減少しましたが、宿泊機能を付加したことで、さらなる集客や観光客の長時間滞留を目指します。
また、コロナ禍で中止されていたツアー・オブ・ジャパンが4年ぶりに開催され、16,000人の観客動員数がありました。

判定	A	B	C	D	不能
指標数	3	2	3	3	0

であい創生プロジェクトは、11 事業中 5 事業がA及びB判定で概ね順調にプロジェクトを進めることができました。
C判定の「空き家バンク登録物件の契約成立件数」は、広告掲載をしてPRに努めていますが、目標を達成できませんでした。
「北勢線利用者数」及び「福祉バス利用者数」は、いずれの実績値も昨年から増加していますが、目標を達成できませんでした。
D判定の「移住支援事業補助金を活用して移住した世帯数」は、例年開催している相談会でのPRが出来ず、申し込みがなく、目標を達成することができませんでした。今後については、空き家解消に向けた新たな取り組みを検討します。
「阿下喜温泉の集客数」は、左記の理由による減少、「ツアー・オブ・ジャパン観客動員数」は、大幅に増加しましたが、コロナ禍以前の水準まで戻らず、目標を達成できませんでした。

国の政策分野3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
⇒　みらい創生プロジェクト
数値目標：合計特殊出生率及び 15 歳～49 歳の女性の人数

数値目標名	単位	実績値	目標値						達成率（%）
			実績値						
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
合計特殊出生率※	%	1.39	1.46	1.46	1.46	1.46	1.46	1.46	97.9
			1.22	1.34	1.37	1.43			
15 歳～49 歳の女性の人数（9 月末の住基人口）	人	8,735	8,700	8,750	8,800	8,850	8,900	8,950	91.7
			8,633	8,435	8,245	8,117			

※前年度の 10 月 1 日から当該年度の 9 月 30 日までの期間で算出（例：R5＝R4.10.1～R5.9.30）

合計特殊出生率については、出生数が294人と前年を維持し、0.06ポイントの上昇となったものの、15歳から49歳の女性の数（分母に当たる総数）は減少しています。
女性の人数の減少は、人口減少をはじめ、就学、就労、結婚の機会による転出が主な要因と考えられます。

判定	A	B	C	D	不能
指標数	6	5	3	0	1

みらい創生プロジェクトは、15 事業中 11 事業がA及びB判定で概ね順調にプロジェクトを進めることができました。
C判定の「各校に登録する学援隊員数」は、目標を達成することができませんでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、微増に転じました。今後も学援隊員数の登録のための啓発に努めます。
「子育て支援センター利用者数」は、感染症拡大防止のための参加者の制限や活動自粛を撤廃したため、昨年に比べ増加しましたが、目標を達成できませんでした。今後は、地域の公民館等へ出向く「出前ひろば」を復活させ、地域との繋がりにも力を入れていきます。
「全国学力学習調査において『将来の夢や目標を持っています』と答えている中学 3 年生の割合」は、未来いなべ科にて未来を切り拓く力を育み、また社会見学やゲストティーチャーの招待を行うなど、生き方について考え方を深めましたが、目標を達成できませんでした。

国の政策分野4

時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する
⇒　くらし創生プロジェクト
数値目標：市民満足調査におけるまちへの愛着度アップ

数値目標名	単位	実績値	目標値						達成率（%）
			実績値						
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
まちへの愛着度（総合計画の市民満足度調査で「愛着を感じる」と回答した方の割合）	%	63.1	－	－	－	－	70.0	－	－
			－	－	－	－	60.1		

「まちへの愛着度」調査は、現在策定中の第3次いなべ市総合計画のアンケートで「いなべ市への誇りや愛着」を「感じるている」割合において、市民60.1％で5年前よりも3％減少で目標を達成することができませんでした。
（参考値：中学生80.1％）
（参考値：市内高校生86.4％）

判定	A	B	C	D	不能
指標数	6	6	1	1	0

くらし創生プロジェクトは、14 事業中 12 事業がA及びB判定で順調にプロジェクトを進めることができました。
C判定の「農を通じた障がい者雇用数」は、目標を達成することができませんでしたが、農に限定しない場合の障がい者雇用者数は 62 名増加という状況にあります。今後についても農を通じた障がい者雇用を推進する一方で、指標設定のあり方を見直すなどの検討をします。
D判定の「防災講演受講者数」は、目標を達成することができませんでしたが、地域から講演会開催の要望が多くなり昨年から大幅に増加しています。今後については、この住民の意識の高まりを市内全域に広められるよう啓発を継続していきます。

審議会委員からの意見

●目標数値が高すぎて、目標を達成できない指標があります。
コロナウイルス感染症の影響を受けた指標も多いが、目標値設定そのものの考え方を整理する必要もあると思います。

●実際には増加していてプラス評価をしたい項目であっても、数値の算出方法によってはC・D 判定になる項目があるため、算出方法についても見直しが必要だと感じます。
例えば、指標によっては、単年の目標人数ではなく、延べ人数の指標があってもいいと思います。

※判定「A：100％以上：進んだ」、「B：85％以上～100％未満：ある程度進んだ」、「C：70％以上～85％未満：あまり進まなかった」、「D：70％未満：進まなかった」、「判定不能：事業が終了したもの又は、判定ができないもの」